

2024年度
(令和6年度)

事業報告書

目次

I	2024年度事業報告	2
	1. 国内における平和構築活動	2
	2. 海外における平和構築活動	9
II	組織	12
III	会議	15



公益社団法人
日本ユネスコ協会連盟

2024 年度事業報告にあたって

2024 年度は、ロシア・ウクライナ間およびパレスチナ・イスラエル間の紛争は、依然として解決の兆しが見えていない。気候変動においても、観測史上もっとも暑い 1 年となり、世界の各地域で異常気象が発生した。2025 年 2 月には、米国政府が新たな関税を発表し、世界的な市場の混乱を引き起こした。

国内外を問わず、こうした影響の多くを社会経済的に立場の弱い人びとが受けている。私たちは教育を軸とした活動を継続し、国内・海外で格差を減らすことを目指して、以下の 2024 年度における重点事業をはじめとする各事業を展開した。

1. グローバルな視点の重視 — 教育課題のさまざまな背景への配慮

「世界寺子屋運動」では、カンボジア、ネパールにおける貧困層の成人と子どもたち約 1,700 人に対し、基礎教育や職業訓練の機会を提供した。アフガニスタンでは約 200 名が職業訓練を受講。在バングラデシュのロヒンギャ難民への識字教育や技術訓練を実施。また、年度後半からは、ガザ難民に対する支援活動の本格的な検討を開始した。

2. 国内の教育課題への取り組み

「U-Smile ～みんなでつなぐ子ども応援プログラム」においては、9 つのプログラムを展開し、学習機会を得られにくい子どもたちを中心に、さまざまな学びの場を提供した。今後も各対象地域の特徴を踏まえながら、当協会連盟および地域ユネスコ協会のほか、行政、地元企業、市民団体などがそれぞれの専門性を生かし、参画する仕組みを構築し活動する。

3. 会員をはじめとする多様な関係者との連携

2024 年度より、大学生を中心としたユース層に対するユネスコ活動に対する理解促進を目的とする施策と活動計画の構築を、当協会連盟、地域ユネスコ協会、そして関連大学とが連携し開始した。また、維持会員企業を対象とした懇談会を実施した。今後も更なる維持会員の拡充と連携強化を図るべく、活動を展開していきたい。

上記以外にも、「災害子ども教育支援」では、令和 6 年能登半島地震被災地支援を実施し、石川県内の学校 29 校を支援し、37 名を奨学生として認定した。また、ユース・ボランティアへの活動助成として 2 団体への支援を実施した。

2024 年度も、多くの会員、募金者、ならびに専門家などの協力で、多岐にわたる事業を通じて、目指した成果を上げることができた。今後も、ユネスコ活動の精神に基づき、趣旨に共感いただける関係者と共に、より効果的な事業推進につとめたい。

I 2024 年度事業報告

1. 国内における平和構築活動

(1) 子ども教育支援

子どもたちが安心して就学できる環境を整備する教育支援および質の高い教育を提供するプログラムを行う。

① 自然災害の被災地における教育復興支援

自然災害で被災した児童・生徒を対象にした、奨学金給付等の教育支援を行う。

(a) ユネスコ協会就学支援奨学金

東日本大震災で被災し、経済状況が悪化した家庭の子ども（中学3年生～高校2年生）を対象に、給付型奨学金（2万円/月・3年間）を継続して実施した。

2024年度は2022年度・2023年度に採用した奨学生への2年目、3年目の給付を行い、計411名を支援した。

また、ユネスコ協会就学支援奨学金の募金者や会員などへ、当事業の成果を報告するため、「ユネスコ協会就学支援奨学金レポート2023」を4,000部制作し、配布した。

(b) MUFG・ユネスコ協会 東日本大震災復興育英基金

三菱UFJフィナンシャル・グループと協働で、東日本大震災により遺児・孤児となった子どもたちが、小学校入学から高校を卒業するまでの奨学金プログラムを継続して実施した。2024年度は81名に2万円/月の奨学金を給付した。

(c) 災害子ども教育支援

自然災害によって被災した国内の学校等を対象にした助成や、被災生徒を対象にした奨学金支援（返還不要）、復興ボランティアを行う青年等に対する支援を行う。

2024年度は令和6年能登半島地震の被災地支援（下記①～③）を実施した。

- ・ 石川県（珠洲市、輪島市、能登町、志賀町、内灘町）の小中高校29校に対し、震災で破損した校内備品購入代等、計27,354,156円の支援金を支給した。
- ・ 2024年度に採用した石川県（珠洲市、輪島市、穴水町）の奨学生（中学1～3年生）37名に給付型奨学金（2万円/月・3年間）の1年目の給付を行った。
- ・ 石川県輪島市で復興ボランティア活動を行った青年の2団体に活動支援金、計128,729円を支給した。

② SDGs達成に向けた次世代育成

持続可能な社会の実現のために、教員や学校に対する教育研修プログラムを行う。

(a) アクサ ユネスコ協会 減災教育プログラム

アクサ生命保険株式会社の協力で、学校現場における防災・減災教育推進を支援した。

- 1) 助成校30校を採用（公募）し、1校につき10万円の助成金を支給した。
- 2) 2024年9月19日～21日、教員研修会を実施（仙台市、気仙沼市）。2024年度助成校教員30名、および地域ユネスコ協会会員4名、計34名が参加した。
- 3) 2025年1月31日、活動報告会を実施。2024年度助成校教員29名、および地域ユネスコ協会会員3名、計32名が参加した。
- 4) 2025年2月1日、減災教育フォーラム（一般公開）を実施（東京都、オンライン配信）。教員、教育関係者他204名が参加。基調講演、パネルディスカッション、被災地の学校の実践事例などにより、減災の知見を深めた。

(b) 教育ツール開発事業

児童・生徒がSDGsへの取り組み、とくにSDG4. 6の非識字という世界的課題を学び、リーフレットの制作を行うなど、教育ツールを開発する事業への支援を行った。世界寺子屋運動をテーマに学び、身近な国際協力のきっかけとする学習プロジェクト「寺子屋リーフレット制作プロジェクト」には、全国の小・中・高等学校から27校1,800名が参加した。

(c) ユネスコスクール推進事業

青少年へのユネスコ活動普及のために、全国のユネスコスクールを対象とし、SDGsへの取り組みを、株式会社三菱UFJ銀行の協力を得て支援した（第15期ユネスコスクールSDGsアシストプロジェクト）。2024年度は、78校に対して助成を行った。また、12月にオンラインで助成校による活動報告会を2回実施し、小学校2校、中・高等学校8校の計10校が参加した。

③ その他の類する事業

(a) 地域協働型包括教育支援事業

「U-Smile ～みんなでつなぐ子ども応援プログラム～」略称：U-Smileプログラム
相対的貧困等により国内で困難な状況に置かれている子どもたちを対象に、地域のユネスコ協会、他団体、行政、企業等と連携し、教育支援、居場所支援等の地域協働型の包括的教育支援を実施した。

1) 助成金

協会連盟ホームページ等にて、地域のユネスコ協会・クラブが実施する本事業の主旨に沿う活動を募集し、助成金審査会を経て、9件計19,839,159円の助成金を支給した。

- ・ 維新隊ユネスコクラブ
- ・ 高知ユネスコ協会

食事付学習支援（前橋）

食事付学習支援・シンポジウム開催

・箕面ユネスコ協会	地域連携による学習支援・体験活動の提供
・京都ユネスコ協会	子ども食堂・学習支援
・津山ユネスコ協会	学習支援・居場所支援
・蓮田・白岡地方ユネスコ協会	学習支援・居場所支援・体験活動の提供
・高松ユネスコ協会	学習支援・体験活動の提供
・八千代ユネスコ協会	学習支援・居場所支援
・成田ユネスコ協会	フォーラム開催
(審査会審査順に記載)	

2) 宇部市「こどもの未来共創ワーキングチーム」の推進

宇部市と日本ユネスコ協会連盟の包括的連携協定に基づき組成されたワーキングチームにより、11件の体験プログラムが実施され、延べ195名の子どもたちに多様な体験機会を提供した。また定期的に会合を開催し、子どもを取り巻く現状及び課題の把握に努めるとともに、支援体制の構築及びネットワーク化の推進を図り、今後の活動方針について協議を行った。

3) 体験機会の提供

非日常の機会、感動体験を提供することで、子どもたちが主体的に社会学習に向き合うこと、共に宿泊し望ましい生活習慣を形成すること、さらに、異文化に触れる経験やさまざまな大人との出会いを通して、子どもたち自身が将来の夢や希望を思い描く力を培っていくことを目的として、助成金を交付しているユネスコ協会・クラブ、宇部市との連携事業による支援団体等の子どもたちを対象に、体験旅行を提供。延べ190名（含む引率者）が参加。

・夏の体験旅行 福岡

2024年7月31日～8月2日 参加者32名（含む引率者）

2024年8月 5日～8月7日 参加者32名（含む引率者）

2024年8月 8日～8月9日 参加者27名（含む引率者）

・春の体験旅行 沖縄

2025年3月27日～29日 参加者79名（含む引率者）

(2) 地域遺産・世界遺産の保護保全・啓発

世界遺産ならびに地域の文化や自然の保護・保全、啓発活動を行う。

① 地域遺産の保護・保全支援

地域の文化や自然の保護・保全活動を支援し、次世代への継承を行う。

(a) 未来遺産運動

100年後の子どもたちに文化や自然を継承することを目指し、地域で活躍する団体を顕彰し、応援することを目的に、東日本旅客鉄道株式会社、住友ゴム工業株式会社、読売新聞社等の協力・後援を得て実施した。

「プロジェクト未来遺産」の募集には全国から32件の応募が寄せられた。各分野の専門家による書類選考と現地調査を行った上で、2024年12月16日に開催した未来遺産委員会にて「プロジェクト未来遺産2024」を4件決定した。

—「プロジェクト未来遺産2024」（プロジェクト名、団体名／所在地）—

・標津遺跡群の魅力世界発信プロジェクト

（特定非営利活動法人 自然・文化遺産保存活用ネット／北海道標津郡標津町）

・「寺崎のはねこ踊り」保存・伝承プログラム～先人の財産を未来へ～

（寺崎はねこ踊り保存会／宮城県石巻市）

・小鹿野歌舞伎継承プロジェクト

（小鹿野歌舞伎保存会／埼玉県秩父郡小鹿野町）

・クモが紡ぐ！地域のきずな～日本三大くも合戦 横綱決定戦～

（富津フンチ愛好会／千葉県富津市）

② 世界遺産の保護・保全支援

世界遺産カレンダー制作協力、世界遺産に関する各種問い合わせ対応などを引き続き行った。

③ その他の類する事業

（3）多文化共生促進

国籍や民族等の異なる文化を認め合い、学び合い、共生に向けた相互理解を促進する。

① 国際理解・交流プログラム

協会連盟の支援対象地域を含む国々の多様な文化を学び、相互理解を促進する機会を提供する。

（a）スタディツアー

協会連盟の寺子屋運動実施国に参加者公募の上、審査を経て、ユースや協力者等を派遣するプログラム。高校生を対象にしたスタディツアーは、公益財団法人かめのり財団との共催し、世界寺子屋運動の現場の視察や現地の人びととの交流を通じて、教育・文化・SDGsの視点からカンボジアの課題を学ぶ機会を提供している。2024年度は5年ぶりにカンボジア現地での実施となり、全国の高校生10名を派遣した。

日程： 2024年7月29日（月） 成田で事前研修会

2024年7月30日（火）～2024年8月5日（月） カンボジア現地研修

主な行き先：

- ・プノンペン（日本国大使館、UNESCOプノンペン事務所、ツールスレン虐殺博物館）
- ・シェムリアップ（リエンダイ寺子屋、アンコール遺跡群）

(b) 三菱アジア子ども絵日記フェスタ

三菱広報委員会およびAFUCAと共催で行うアジア（24の国と地域）の6歳から12歳を対象とした絵日記コンテスト。

2024年度は、第16期（2024-2025年）の絵日記作品の募集を6月から開始し、2025年1月までに5,681作品が集まった。また、海外のパートナー団体（教育省、ユネスコ国内委員会、ユネスコ協会連盟等）と連携し、海外の絵日記作品の募集も行い、22ヶ国から28,112作品が集まった。

② UNESCO関連団体との連携促進

UNESCOをはじめ、WFUCA（世界ユネスコ協会クラブ・センター連盟）やAFUCA（アジア太平洋ユネスコ協会クラブ連盟）と連携をはかり、民間ユネスコ運動を推進した。

(a) 世界ユネスコ協会クラブ・センター連盟（WFUCA）の活動振興

世界で民間ユネスコ運動の普及のために活動する同連盟（WFUCA）と連携し、ユネスコ精神のさらなる普及を図るための情報交換を行った。

2024年8月にベトナム・ハロンで行われた「WFUCA執行委員会」に出席し、各国の協会連盟と意見交換を行った。また、カザフスタンで2025年2月に開催された「グローバル・ユースフォーラム」にユネスコ協会の青年2名を派遣した。

(b) アジア太平洋ユネスコ協会クラブ連盟（AFUCA）の活動振興

アジア太平洋地域で民間ユネスコ運動の普及のために活動する各国の協会連盟と連携を図り、ユネスコ活動を推進した。

(c) UNESCO、関係団体との連携

UNESCO との協力協定（日本国内における UNESCO への資金調達）に基づき、UNESCO 及び「UNESCO 公式サポーター」企業との連携を行った。

③ その他の類する事業

（４）地域草の根推進

平和な社会の実現に向け、地域の課題解決に資する民間ユネスコ運動を推進する。

① 地域草の根プログラム

会員および開催地等の市民が集い、地域から平和を考える各種会合を行う。

(a) 第80回日本ユネスコ運動全国大会

民間ユネスコ活動推進のため1年に1回、全国の会員が集い、会員及び開催地市民に、日ごろのユネスコ活動の情報提供を行うとともに、大会テーマについて研鑽を深めた。2024年度は、愛媛県新居浜市で開催し、約400人が参加した。

テーマ 持続可能な未来へ～SDGsの先進事例から学ぶ～
（～ESD学びの場からの発信～）

日 程 2024年11月23日（土）
会 場 リーガロイヤルホテル新居浜
主 催 公益社団法人日本ユネスコ協会連盟
愛媛県ユネスコ連絡協議会（主管：新居浜ユネスコ協会）

(b) ブロック別ユネスコ活動研究会（全国9ブロック）

民間ユネスコ運動推進のため、会員および開催地の市民を対象とした研究会を、全国9ブロックで開催した。（四国ブロックは全国大会と同時開催）

10月19日（土） 北海道ブロック・ユネスコ活動研究会（主管：北広島ユネスコ協会）
10月 5日（土） 東北ブロック・ユネスコ活動研究会（主管：酒田ユネスコ協会）
10月12日（土） 関東ブロック・ユネスコ活動研究会（主管：茨城県ユネスコ連絡協議会）
9 月28日（土） 中部東ブロック・ユネスコ活動研究会（主管：沼津ユネスコ協会）
10月19日（土） 中部西ブロック・ユネスコ活動研究会（主管：富山ユネスコ協会）
10月27日（日） 近畿ブロック・ユネスコ活動研究会（主管：伊都・高野山ユネスコ協会）
9 月21日（土） 中国ブロック・ユネスコ活動研究会（主管：広島県ユネスコ連絡協議会）
11月23日（土） 四国ブロック・ユネスコ活動研究会（主管：新居浜ユネスコ協会）
10月26日（土） 九州ブロック・ユネスコ活動研究会（主管：大分ユネスコ協会）

② ユースプログラム

青少年の育成に資する民間ユネスコ運動を推進する。

(a) 青少年活動助成

全国のユネスコ協会・クラブが行う青少年を対象としたSDGs実現に資する活動に対して、2024年度は合計で50件の助成を行った（助成総額：2,107,761円）。ホームページ等にて募集し、審査を経て助成事業を決定した。

(b) 青年ネットワーク強化

青年評議員及び全国的青年連絡組織等による青年のネットワーク強化を検討する会議を開催し、青年全国大会の支援などを行った。

(c) みどりの絵コンクール

環境意識の啓発を目的に、公益財団法人三菱 UFJ 環境財団との共催で、第 49 回「みどりの絵コンクール」を実施した。当コンクールへの応募総数 21,365 点の中から、最優秀賞 9 点・優秀賞 32 点・入選 346 点を選考した。また、2024 年 12 月 14 日、如水会館（東京都千代田区）にて最優秀賞の表彰式を実施した。

③ 活性化推進プログラム

民間ユネスコ運動の次世代の担い手（ボランティア）を育成し、さらなる活性化を推進した。

(a) 日ユ協連リーダーセミナー

これからの民間ユネスコ運動の担い手を対象にオンラインセミナーを実施した。

2025年2月28日（金）、3月1日（土）（同内容を2回実施）

わたしの町のたからもの絵画展意見交換会（参加者：29ユネスコ協会・クラブ、39名）

(b) 民間ユネスコ運動の普及、促進

民間ユネスコ運動の日（「平和の鐘を鳴らそう」等含む）の普及、ユネスコ協会の新設、ユネスコ協会便の配信、動画配信、日本ユネスコ国内委員会等との連携を行った。

④ その他の類する事業

（５）普及広報・財務強化

UNESCO憲章の理念に基づき、平和や教育、文化等の重要性を発信し、SDGs達成に寄与する。

① 広報・PR

社会を巻き込み、当連盟が取り組む活動の認知向上を目指して広報・PRを行う。

(a) 機関誌、活動レポート、ホームページ、メールマガジン、YouTube、プレスリリース、SNS等における広報・PR

(b) 後援・共催等、他社主催事業・イベントへの協力
名義後援の対応を行った。

② ファンドレイジング施策

SDGsの達成のために、賛同者を増やし、財政基盤の安定・拡大をはかる。

(a) 募金増強施策の実施

遺贈に関する広告掲載やパンフレットの改訂、配布などを行った。

(b) 寄付企画、会員拡充施策の実施

維持会員の拡充および企業などと連携したファンドレイジング活動を実施した。

③ その他の類する事業

2. 海外における平和構築活動

(1) 途上国における教育支援

途上国において、公的教育を受けられない大人や子どもを対象に、基本的人権である教育の機会を提供する。

① 識字教育支援（世界寺子屋運動）

現地の教育省等と連携し、教育を受けられなかった大人や、公教育を受けられずにいる子どもたちへの識字教育支援、技術訓練等を行った。

(a) アフガニスタン（アフガニスタン寺子屋プロジェクト）

2021年8月の政変以降、政策の変更により、識字教育事業の実施許可は下りないが、貧困対策を重視する労働社会問題省と覚書を締結し、2024年6月から6か月間に渡り、200名の成人（15歳以上）を対象とした職業技術訓練をカブール県内において実施した。

(b) カンボジア（アンコール寺子屋プロジェクト）

シェムリアップ州教育局と連携し、チュブタトラウ郡に寺子屋1軒を建設した。加えて、成人（15歳以上）を対象とした識字教育、及び学校を中途退学した子どもへの支援として公教育への復学支援クラス、幼稚園クラスを実施し、1,090名に学びの機会を提供した。

(c) ネパール

世界遺産「ルンビニ」地域の3郡において新型コロナウイルス感染症の影響を受けた子どもを対象とした幼稚園クラス、初等教育クラスおよび生徒の保護者への収入向上活動や家庭内での基礎識字クラスなどを実施し、1,034人が参加した。クラスに通う保護者への啓発活動や、女子生徒を対象とした公衆衛生や女性の権利に関する研修も実施した。さらに、寺子屋を運営する運営委員の能力開発や寺子屋と地方政府の連携強化のためのワークショップなども開催した。また、地震で寺子屋の建物が被害を受けたパジャル寺子屋（ジャジャルコット郡）の建物再建の支援を開始した。

(d) ミャンマー

政変の影響により2021年3月以降、国内での活動を休止しているが、ミャンマー国内での活動再開は困難と判断。2024年8月までUNESCOダッカ事務所が行うバングラデシュのcocksbazalにおけるロヒンギャ難民の青年を対象とした識字・技術訓練及び難民キャンプ周辺住民への技術訓練を実施し、300人が識字（ビルマ語と英語）を学ぶとともに、刺繍や手工芸品づくりなどの研修を受けた。

② 識字教育普及促進プログラム

各地ユネスコ協会・クラブ、企業、団体、ユネスコスクール等と連携し、世界の識字問題の理解促進をはかる。

(a) 書きそんじハガキキャンペーン

2024年12月から2025年5月までを強化期間として、各地のユネスコ協会・クラブ及び企業、団体、個人の方々へのPR活動を行った。また、企業の協力を得て、雑誌や新聞、ラジオ等でも回収を呼び掛けた。

③ その他の類する事業

(2) 途上国への医療・食糧支援（一杯のスプーン）

途上国のアジア諸国における貧困層を対象に無償の医療、食糧支援を行う。

① 医療・食糧支援（一杯のスプーン）

世界寺子屋運動を展開しているネパール、アフガニスタンにおいて、無償で医療・食糧支援を行う。

(a) ネパール

ルンビニの寺子屋が地元のクリニックと協同で巡回健診や眼科検診、歯科検診、地域の人びとへの母子保健に関する研修を実施したほか、生理用品づくりなどの講習も行い、3,136人が参加した。

(b) アフガニスタン

カブール市内のクリニックにおいて医療活動や薬の提供、リハビリ治療などを行ったほか、栄養状態のよくない子どもたちへ栄養補助食品を提供した。2024年度は累計で12万人以上がクリニックを利用した。

② その他の類する事業

(3) 世界遺産保護・保全支援

人材の育成や修復、世界遺産教育等を通じて、世界遺産の保護・保全を推進する。

① 世界遺産保護、保全支援

アジア諸国の世界遺産を中心に、修復技術の移転、人材育成、世界遺産教育を行った。

(a) カンボジア

世界遺産「アンコール」周辺地域における住民の意識啓発を目的に、子ども（小学校相当）を対象とした塗り絵教材を活用した世界遺産学習プロジェクトを実施した。寺子屋の指導者および小学校教員計36名を対象に、研修会を2024年9月18日～19日に開催した。教室での学習終了後の12月に、9の寺子屋で学ぶ、246名の子どもたち、ならびに50人の小学生を対象にアンコール遺跡を訪問するスタディビジットを実施した。

(b) インドネシア

UNESCOジャカルタ事務所と連携し、世界遺産「ボロブドゥール寺院遺跡群」周辺地域において、伝統的家屋を維持するための住民の意識啓発、及び現地の大学生が取り組む同地域の課題解決プロジェクトのコンペティションを支援した。

② その他の類する事業

Ⅱ 組織

(2025 年 3 月 31 日現在)

1. 理事 (22) (五十音順) (* 代表理事)

会長	佐藤 美樹*	朝日生命保険相互会社 特別顧問	非常勤<維持>
副会長	大津 和子	北海道ユネスコ連絡協議会 会長	非常勤<構成>
副会長	見上 一幸	公益社団法人仙台ユネスコ協会 会長	非常勤<構成>
理事長	鈴木 佑司*	法政大学 名誉教授	非常勤<個人>
理事	池田 敬介	東京都ユネスコ連絡協議会 監事	非常勤<構成>
理事	井上 波	株式会社TBSホールディングス執行役員兼株式会社TBSテレビ取締役	非常勤<維持>
理事	今中 麻美	名古屋ユネスコ協会青年部 副代表	非常勤<青年>
理事	大矢 和子	公益財団法人資生堂子ども財団 前理事長	非常勤<会推>
理事	小山田 隆	三菱UFJ銀行 特別顧問	非常勤<個人>
理事	岸 正博	群馬県ユネスコ連絡協議会 会長	非常勤<構成>
理事	木曾 功	元UNESCO政府代表部 特命全権大使	非常勤<会推>
理事	小林 敬一	古河電気工業株式会社 取締役会長	非常勤<会推>
理事	白石 勝洋	久留米ユネスコ協会 会長	非常勤<構成>
理事	鈴木 昌徳	津山ユネスコ協会 会長	非常勤<構成>
理事	土居 英雄	松山ユネスコ協会 会長	非常勤<構成>
理事	永田 佳之	聖心女子大学現代教養学部教育学科 教授	非常勤<会推>
理事	中谷 祐太	公益社団法人仙台ユネスコ協会	非常勤<青年>
理事	名須川 知子	OMEP日本委員会 会長	非常勤<賛助>
理事	平井 花画	岐阜県ユネスコ協会 会長	非常勤<構成>
理事	松前 進	厚木ユネスコ協会 会長	非常勤<構成>
理事	安田 昌則	大牟田市教育委員会 前教育長	非常勤<個人>
理事	山中 健	芦屋ユネスコ協会 会長	非常勤<構成>

(注)<構成>：構成団体会員代表、<賛助>：賛助団体会員代表、<個人>：個人会員代表、
<維持>：維持会員代表、<青年>：青年代表、<会推>：会長推薦

2. 監事 (3)

監事	齋藤 晴正	株式会社増田屋コーポレーション 代表取締役社長	非常勤
監事	増田 正志	増田公認会計士事務所 公認会計士	非常勤
監事	吉崎 晴子	特定非営利活動法人市川市ユネスコ協会 特別顧問	非常勤

3. 名誉会長 (1)

大橋洋治

4. 顧問 (9)

加藤玲子 千 玄室 千葉杲弘 西村幸夫 野口 昇 濱中昭一郎
松浦晃一郎 村田昌志 米田伸次

5. 評議員数

会員種別	人数	定数
構成団体会員	79人	82人以内
(うち青年代表)	(8人)	(9人以内)
(うち国内委員会委員)	(9人)	(9人以内)
賛助団体会員	2人	2人以内
個人会員	8人	10人以内
維持会員	5人	19人以内
計	94人	104人以内

6. 会員数

会員種別	2023年度末	減	増	2024年度末
構成団体会員	272	3	2	271
賛助団体会員	18	1	0	17
個人・終身個人会員	180	8	0	172
維持会員	137	3	3	137
計	607	15	5	597

7. 会員の異動

構成団体会員

<入会> 2

文京ダイバーシティ・ユネスコ協会

2024年5月18日第563回理事会承認

富士吉田ユネスコ協会

2024年5月18日第563回理事会承認

<退会> 3

平和の文化東京ユネスコクラブ、松阪ユネスコ協会、武蔵野ユネスコ協会

<名称変更>2

大分ユネスコ協会

2024年9月14日第565回理事会承認

特定非営利活動法人 神戸ユネスコ協会

2025年3月15日第568回理事会承認

賛助団体会員

<入会> 0

<退会> 1

個人会員

<入会> 0

<退会> 8

維持会員

<入会> 3

株式会社みずほフィナンシャルグループ	2024年5月18日第563回理事会承認
au 損害保険株式会社	2025年1月25日第567回理事会承認
中部電力株式会社	2025年3月15日第568回理事会承認

<退会> 3

8. 地域的なユネスコ活動の領域を代表する日本ユネスコ国内委員会委員 (2024年3月末現在)

北海道	押谷 一	(江別ユネスコ協会会長)
東北	藤本 恵子	(秋田ユネスコ協会会長)
関東・甲信越	成田 和憲	(渋谷ユネスコ協会副会長)
関東・甲信越	西野 裕代	(杉並ユネスコ協会副会長)
中部	大矢 彰子	(名古屋ユネスコ協会理事)
近畿	若林 美和子	(大阪ユネスコ協会理事・事務局長、大阪府ユネスコ連絡協議会理事・事務局長)
中国	井上 法雄	(鳥取ユネスコ協会会長)
四国	井上 公子	(四国中央ユネスコ協会理事)
九州	添石 幸伸	(沖縄県ユネスコ協会会長)
全国的連合組織	佐藤 美樹	(公益社団法人日本ユネスコ協会連盟会長)
全国的連合組織	鈴木 郁香	(柏ユネスコ協会理事)

Ⅲ 会 議

1. 総会

第76回定時総会

日 時 2024 年 6 月 15 日（土）14：30-16：00

場 所 新宿エルタワー サンスカイルーム A 室・オンライン（ハイブリッド）
東京都新宿区西新宿 1 丁目 6-1 新宿エルタワー30 階

議 長 会長 佐藤 美樹

議決権を有する社員の総数 604 名

総議決権数 604 個

出席社員数 483 名（委任状提出者を含む）

出席の社員が有する議決権数 483 個

議 題

【決議事項】

第1号議案 2023年度事業報告書(案)及び計算書類等(案)

第2号議案 会員種別代表理事・評議員の定数見直し

第3号議案 役員報酬規程の改定

【報告事項】

- ・ 2024年度事業計画書及び収支予算書
- ・ ユネスコ・アジア文化センターとの合併検討について
- ・ 第80回日本ユネスコ運動全国大会in新居浜について
- ・ 国際情勢等をふまえたユネスコ活動等の推進についての提言

2. 理事会

第563回理事会

日 時 2024 年 5 月 18 日（土）14：00-16：30

場 所 オンライン開催

議 長 会長 佐藤 美樹

出席理事数 22名 ※理事総数22名

議 題

I. 第562回理事会議事要録の確認（3月末に内閣府提出済）

II. 決議事項

1. 会員の入会

2. 2023年度事業報告書(案)及び2023年度計算書類等(案)

(1) 2023年度事業報告書(案)

(2) 2023年度計算書類等(案)

3. 第76回定時総会の開催(案)

4. 第59回評議員会の開催(案)

5. 常勤役員（理事長）報酬額について(案)

6. 「役員選任に関する規程」・「評議員選任に関する規程」の改定(案)について

7. 2025年度全国大会について

Ⅲ. 協議事項

1. 部会等からの報告・提案事項等

- (1) 財務部会
- (2) 組織部会
- (3) U-Smile部会

2. ユネスコ・アジア文化センターとの合併検討について

Ⅳ. 報告事項

1. 担当理事からの報告（学校関連・災害復興支援）

2. 青年理事報告

3. 2024年度 事業進捗報告等

4. 代表理事の職務執行状況報告(2024年3月16日～2024年5月17日)

5. 後援・共催事業

6. 日本ユネスコ国内委員会関係報告

7. その他

- ・ユネスコスクールを含む学校に関する構成団体アンケート調査最終報告について
- ・2024 年度理事会・評議員会・総会の運営方法について

第564回理事会

日 時 2024 年 7 月 8 日（月）～15 日（月・祝）

場 所 書面開催

議 長 会長 佐藤 美樹

回答理事数 22名 ※理事総数22名

議 題

Ⅰ. 決議事項

1. 事務局長の選任

第565回理事会

日 時 2024 年 9 月 14 日（土）14：00-16：30

場 所 オンライン開催

議 長 会長 佐藤 美樹

出席理事数 18名 ※理事総数22名

議 題

Ⅰ. 第 563 回理事会・第 564 回理事会議事要録の確認

Ⅱ. 決議事項

1. 会員の入会(名称変更)

2. 戦略広報担当理事の任命

3. 組織部会・副部会長の交代

Ⅲ. 協議事項

1. 部会等からの報告・提案事項等

- (1) 組織部会
- (2) 財務部会
- (3) U-Smile部会

2. ユネスコ・アジア文化センターとの合併検討について

Ⅳ. 報告事項

1. 担当理事からの報告（学校関連・災害復興支援）

2. 青年理事報告

3. 2024年度 事業進捗報告等

4. 代表理事の職務執行状況報告（2024年5月18日～2024年9月13日）

5. 後援・共催事業

6. 日本ユネスコ国内委員会関係報告

7. その他

第566回理事会

日 時 2024年11月16日（土）14：00-16：30

場 所 オンライン開催

議 長 会長 佐藤 美樹

出席理事数 18名 ※理事総数22名

議 題

Ⅰ. 第565回理事会議事要録（案）の承認

Ⅱ. 決議事項

1. 役員（理事・監事）及び評議員選任に関する選考委員会の設置

Ⅲ. 協議事項

1. 部会等からの報告・提案事項等

- (1) 組織部会
- (2) 財務部会
- (3) U-Smile部会
- (4) 世界寺子屋運動ガイドラインについて

2. ユネスコ・アジア文化センターとの合併検討について

3. 会員種別代表理事・評議員の定数の見直し（増員）について

Ⅳ. 報告事項

1. 担当理事からの報告（学校関連・災害復興支援）

2. 青年理事報告

3. 2024年度 中間決算

4. 情報セキュリティ監査報告

5. 2024年度 事業進捗報告等

6. 代表理事の職務執行状況報告（2024年9月15日～2024年11月15日）

7. 後援・共催事業

8. その他

第567回理事会

日 時 2025 年 1 月 25 日（土）14：00-16：30

場 所 新宿エルタワー サンスカイルームB2室・オンライン（ハイブリッド）
東京都新宿区西新宿 1 丁目 6-1 新宿エルタワー30 階

議 長 会長 佐藤 美樹

出席理事数 20名 ※理事総数22名

議 題

I. 第 566 回理事会議事要録の確認

II. 決議事項

1. 会員の入会
2. 役員損害賠償責任保険の更新

III. 協議事項

1. 部会等からの報告・提案事項等
 - (1)組織部会
 - (2)財務部会
 - (3)U-Smile部会
2. ユネスコ・アジア文化センターとの合併検討について
3. 2025 年度事業計画書（案）・収支予算書（案）

IV. 報告事項

1. 担当理事からの報告（学校関連・災害復興支援）（戦略広報）
2. 選考委員会報告
3. 青年理事報告
4. 第59回評議員会にて提出された意見（議事要録）
5. 第60回評議員会議題(2/15(土)オンライン開催)
6. 2024年度 事業進捗報告等
7. 代表理事の職務執行状況報告(2024年11月16日～2025年1月24日)
8. 後援・共催事業
9. 日本ユネスコ国内委員会委員（新任委員）の当連盟評議員就任
10. その他

第568回理事会

日 時 2025年3月15日（土）14：00-16：30

場 所 新宿エルタワー サンスカイルームB2室・オンライン（ハイブリッド）
東京都新宿区西新宿 1 丁目 6-1 新宿エルタワー30 階

議 長 会長 佐藤 美樹

出席理事数 20名 ※理事総数22名

議 題

I. 第567回理事会議事要録(案)の承認

Ⅱ. 決議事項

1. 会員の入会
2. 2025年度事業計画書（案）・収支予算書（案）・資金調達及び設備投資の見込み（案）
3. 2026年度全国大会について

Ⅲ. 協議事項

1. 部会等からの報告・提案事項等
 - (1)組織部会
 - (2)財務部会
 - (3)U-Smile部会
2. ユネスコ・アジア文化センターとの合併検討について

Ⅳ. 報告事項

1. 担当理事からの報告（学校関連・災害復興支援）（戦略広報）
2. 青年理事報告
3. 第60回評議員会にて提出された意見（第60回評議員会議事要録より）
4. 2024年度 事業進捗報告等
5. 代表理事の職務執行状況報告（2025年1月25日～2025年3月14日）
6. 後援・共催事業
7. 日本ユネスコ国内委員会関係報告
8. その他（2025年度以降の会議日程）

3. 評議員会

第59回評議員会

日 時 2024年8月3日（土） 14：00～16：35

場 所 新宿エルタワー サンスカイルームA室
東京都新宿区西新宿 1 丁目 6-1 新宿エルタワー30 階

議 長 会長 佐藤 美樹

出席評議員数 45 名 ※評議員総数 94 名

議 題

- ・ 第58回評議員会 議事要録の確認
- 1. ユネスコ・アジア文化センターとの合併検討について
- 2. 2024年度事業進捗報告
- 3. 日本ユネスコ国内委員会の活動報告
- 4. その他
 - ・ 評議員会の開催方法について
 - ・ 令和版！平和の鐘をならそうプロジェクト実行委員会（青年会員有志）の

第60回評議員会

日 時 2025年 2月15日（土） 14：00～16：30

場 所 オンライン開催

議 長 会長 佐藤 美樹

出席評議員数 58名 ※評議員総数94名

議 題

・第59回評議員会 議事要録の確認

1. 日本ユネスコ国内委員会委員（新任地域代表委員）の当協会連盟評議員就任
2. 2025年度 事業計画書(案)・収支予算書(案)
3. ユネスコ・アジア文化センターとの合併検討について
4. 部会等からの報告
 - (1)組織部会
 - (2)U-Smile部会
 - (3)世界寺子屋運動
 - (4)青年理事
5. 2024年度 事業進捗報告
6. その他

4. 理事会運営体制

(1) 部会等

部会等

第 558 回理事会（2023 年 7 月 15 日）で設置を承認。

任期：2023 年 7 月から 2025 年 6 月まで

ア. 組織部会

今後の組織（構成団体会員）の活性化、及び次世代育成のための施策形成を行うとともに、各テーマや課題について施策等の検討を行う。

(1) テーマ・課題

- ①会員の入退会並びに加盟協会・クラブの活性化のための調査、施策形成
- ②次世代育成のための調査と施策形成
- ③ユネスコ国内委員会(同小委員会を含む)との連携の推進、共創プラットフォームとの協働
- ④プロ研、全国大会の運営組織、プログラム等の在り方検討、主管ユ協への助言
- ⑤会長、理事長、各部会長からの要請事項、及び事務局担当部との協議にて決定した事項

(2) 構成メンバー

部会長：見上一幸（副会長・東北）、副部会長 大津和子（副会長・北海道）

委 員：地域代表理事：池田敬介(関東/東京)、岸正博(関東/東京以外)、松前進(中部東)、
平井花画(中部西)、山中健(近畿)、鈴木昌徳(中国)、白石勝洋(九州)

青年代表理事：今中麻美、中谷祐太

賛助団体会員代表理事：名須川知子

(3) 開催日 （すべてオンライン開催）

2024 年 5 月 7 日、2024 年 8 月 26 日、2024 年 11 月 5 日、2025 年 1 月 16 日

2025 年 3 月 7 日

イ. 財務部会

財務状況の把握、年次収支計画実施状況の精査、確認を行う

(1) テーマ・課題

- ①財政状況の把握
- ②修正計画・実施状況の精査
- ③ユネスコ・アジア文化センターとの合併に係る財政面の精査・検討
- ④会長、理事長、各部会長からの要請事項、及び事務局担当部との協議にて決定した事項

(2) 構成委員

部会長：平松哲郎（評議員）

副部会長：土居英雄（理事）

委員：鈴木佑司（理事長）、大矢和子（理事）

(3) 開催日（すべてオンライン開催）

2024年5月13日、2024年8月30日、2024年11月7日、2025年1月20日、
2025年3月7日

ウ. U-Smile 部会

2023年度にスタートしたU-Smile事業の確実な実施と関連する課題解決、特に外務有識者等を登用し、議論の活性化を図り、透明性の向上、不祥事の防止、ダイバーシティとインクルージョンの尊重など、本事業の発展に資する運営を行う。

(1) テーマ・課題

- ①本事業の運営方針や施策の検討
- ②本事業を推進するために必要な助言
- ③担当する事務局の業務執行状況、並びに運営状況の監督
- ④会長、理事長、各部会長からの要請事項、及び事務局担当部との協議にて決定した事項

(2) 構成委員

部会長：小山田隆（理事）

副部会長：牧貞夫（外部有識者）

委員：鈴木佑司（理事長）、望月浩明（評議員）、大西良（外部有識者）、
渡辺由美子（外部有識者）

(3) 開催日（すべてオンライン開催）

2024年5月8日、2024年8月23日、2024年10月24日、2025年1月8日、
2025年2月27日

エ. 連盟幹部会

(1) テーマ・課題

統一的施策をスピーディーに実行すべく、各部会・会議間の連携を図る。

(2) 構成委員

佐藤美樹(会長)、大津和子(副会長)、見上一幸(副会長)、鈴木佑司(理事長)、
小山田隆(理事)

(3) 開催日 (すべてオンライン開催)

2024年5月17日、2024年9月13日、2024年11月15日、2025年1月24日、
2025年3月14日

(3) 担当理事

協会連盟の業務執行において、喫緊または中長期で取り組む必要がある事業案件について、会長はその担当理事を任命する。

ア. 未来遺産担当理事 井上波

- ①未来遺産事業の今後の方針案の策定、事業協賛活動等
- ②遺産関連事業(ジャカルタ・ユネスコ事務所との連携)
- ③会長、理事長、各部会長からの要請事項、及び事務局担当部との協議にて決定した事項

イ. 学校関連(ESD/US含む)災害復興支援担当理事 安田昌則

- ①減災教育・復興支援事業の今後の方針案の策定
- ②ESD・ユネスコスクール関連事業の今後の方針案の策定(構成団体の活動活性化施策との関連)
- ③会長、理事長、各部会長からの要請事項、及び事務局担当部との協議にて決定した事項

ウ. 世界寺子屋運動担当理事 永田佳之

- ①コロナ渦以降の海外事業の課題の整理
- ②運動の評価と課題の洗い出し
- ③会長、理事長、各部会長からの要請事項、及び事務局担当部との協議にて決定した事項

エ. 戦略広報担当理事 小林敬一

- ①協会連盟の認知度向上及び賛同者拡大に向けた各種企業等への広報強化
- ②維持会員の拡充施策の推進
- ③各種企業等との連携施策の策定
- ④会長、理事長、各部会長からの要請事項、及び事務局担当部との協議にて決定した事項

附属明細書

2024 度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

2025 年 6 月

公益社団法人 日本ユネスコ協会連盟